

(対象事業：2. 先進的な展示・教育普及手法の開発等の事業)

事業名：2005年日本国際博覧会記念企画「山水から  
風景へ 自然をめぐる千年の旅」展

事業者名：2005年日本国際博覧会記念企画「山水から  
風景へ 自然をめぐる千年の旅」展実行委  
員会

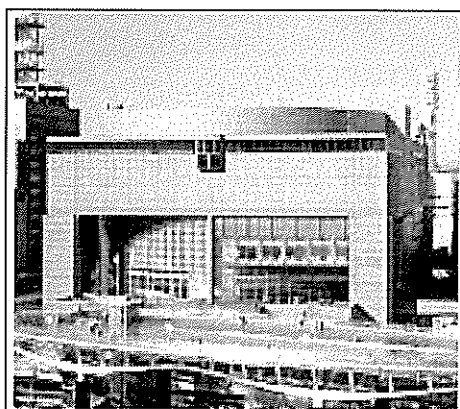
連携事業館名：なし

住所：名古屋市東区東桜1-13-2

TEL：052-971-5511

FAX：052-971-5604

HPアドレス：<http://www-art.pref.aichi.jp>



### ①施設概要

愛知県美術館は名古屋の都心部に位置する芸術複合施設、愛知芸術文化センター内にあり、近代美術を中心にしたコレクションを形成し、企画展では内外の美術を幅広く取りあげ紹介するとともに、さまざまな教育普及事業等も展開する当地域における中核的な美術館である。

### ②事業の意図目的

本展覧会は2005年3月から9月にかけて愛知県で開催される日本国際博覧会にあわせて開催する。博覧会のメイン・テーマ「自然の叡智」に沿って企画されたもので、古代から近代に至る千年以上にわたり、日本人が自然をどのように捉え、表現してきたかを歴史的な名品の数々によって辿るもので、博覧会に併せて来場する国内外の人々に、日本美術の重要な作品を鑑賞できる機会を提供するとともに、日本文化への関心を一層深めてもらうことを目的として開催した。

### ③事業概要

日本人の自然観は、各時代の多岐にわたる種類の作品の中に非常に豊かに表現されている。この展覧会の出品作品は日本美術における主要な名品をカバーするもので、現代の人々にとっては、これらの作品の鑑賞を通して、常に自然と密着してきた日本人の姿を再確認する機会を提供する。展覧会は（1章）聖なる自然、（2章）理想的な風景、（3章）季節の中で、（4章）動植物へのまなざし、（5章）実在の場所 名所絵から風景画へ という5章で構成され、各種の作品に表現された自然の特徴的な在り方を把握するとともに、そのまま日本美術の流れを通観することができる。そのような展覧会の内容と日本美術の特質に触れ、理解を深めることができるよう講演会等の事業を実施するとともに、博覧会の開催にあわせての来場が予想される海外からの観光客に対しても、各国語の鑑賞ガイドを準備するなど、各種の事業を展開した。

### ④事業の製作物及び報告書等

事業の製作物 テキスト ワークシート その他（ ）  
作成した報告書等  
ビデオ（ ）  
冊子（展覧会図録、鑑賞ガイド（4ヶ国語）、リーフレット（5ヶ国語））  
その他（音声ガイド）

### ⑤参加者状況

参加者人数 延べ18,540人  
内 訳 一般15,959人、高大生1,852人、小中生729人

## (1) 事業の実施状況について

### ○日本文化の普及

本展覧会は、2005年日本国際博覧会の公式行事のひとつとして認定されたもので、当地を訪れる国内外の多くの人々に日本美術の歴史的な名品の数々を一堂に鑑賞できる機会を提供するものでした。そうした配慮から下記の事業を実施しました。

#### ① 4ヶ国語による鑑賞ガイドの作成（日本語、英語、中国語、韓国語）

第1章：聖なる自然、第2章：理想の風景、第3章：季節の中で、第4章：動植物へのまなざし、第5章：実在の場所―名所絵から風景画へ―の各章のみどころを解説し、鑑賞の手引きとした。また、展覧会案内として関係機関にも配布した。（A4版、2ツ折、図版22点収録）

#### ② 5ヶ国語による企画展案内を含む施設案内リーフレットの作成（日本語、英語、中国語、韓国語、ポルトガル語）

美術館の施設案内と本展のみどころを掲載し、展覧会案内として関係機関にも配布した。（A4版、3ツ折＋折込1枚、図版7点収録）

#### ③ 記念講演会の開催

「桜花をめぐって―美術と文学―」3月19日

（講師：中西進（京都市立芸術大学学長）、辻惟雄（東京大学名誉教授））

2名の講師の講演後、聴講者を交えてのトーク会を開催（参加者252名）

### ○ 教育的普及活動

鑑賞者に日本美術の特色を解りやすく、また、関心を抱かせるようスライド・トークや団体解説を行った。また、小中学生への教育的配慮として展覧会の入場料を無料とするとともに、県下の小中学校へ家族パスポート（小中学生が家族などと来場した場合、大人も割引料金となるサービス）を発行する等以下の活動を行った。

#### ① スライド・トークの実施（担当学芸員による展示に即した解説を実施し、展覧会の鑑賞案内ならびに、日本美術に親しみを覚えるような講義を行った。）

#### ② 音声ガイドサービスの実施（主な作品には音声録音による解説を準備し、来場者が直接説明を聴きながら作品鑑賞をできるよう機器の貸出を行った。）

#### ③ 家族パスポートの発行（東海三県＜愛知・岐阜・三重＞の小中学校に配布）

＊小中学生の観覧料の無料化の案内と保護者への広報を行った。

#### ③ 小・中・高校の先生方との鑑賞学習交流会の実施。

＊教育現場の教師との意見交換会で、本展の教育現場での活用方法とその効果について協議した。

## (2) 地域との連携について

愛知県を中心に、この地域の小中学校、高校を始めとし、各大学関係への広報普及に重点的に取り組み、生徒や学生（各大学の留学生を含む）がこの展覧会を通じて日本美術への関心を高めることができるよう心がけました。また、地域内の各種の文化サロン（各デパート友の会等）やホテル業界、タクシー業界への働きかけをし、外国

人観光客等一人でも多くの人に本展の魅力と意義を理解していただくよう心がけるとともに、この機会に上記の各種団体等との協力、連携の契機となるよう努力しました。

### (3) 成果物について

○展覧会図録（A4版変形、330ページ） 30,000部

○鑑賞ガイド（A4版、4ページ、4ヶ国語）

英語20,000部、日本語10,000部、韓国語、中国語各5,000部

○施設ガイド+展覧会案内（A4三つ折+シート）

英語50,000部、

中国語、韓国語、フランス語、ポルトガル語 各25,000部

### (4) 参加者の反応

会期中アンケートを実施しましたが、その状況では、来場者のほとんどから展覧会内容について高く評価する声が寄せられました。ただ、古美術の名品が多く含まれていたため、会期中数多くの作品に展示替が生じたことから、来場者から目当ての作品を見ることができなかったという声がありました。これについてはインターネットや印刷物の配布などによって事前の情報提供に最大限努力しましたが、一部来場者には周知できなかったことによるもので、今後同様の展覧会開催にあたっては更なる工夫が必要と考えています。

#### (アンケートに寄せられた主な感想)

○貴重なものばかりで、普段なかなか見ることができない作品に接する機会がもて非常に良かった。

○展示作品に描かれた風景を見ることで日本人としてのアイデンティティを奮い起こさせてくれる気がした。

○古い時代の美術品から近代のものまでが同時に展示してあって、大変新鮮な感じだった。

○素晴しかった。個人的には万博よりも気に入った。

○展示替のため目当ての作品で見られないものがあり残念だった。

### (5) 芸術拠点形成事業を実施したことによる効果

本展覧会は日本国際博覧会のメイン・テーマ「自然の叡智」にそって企画したものであったが、関係機関の特別な協力によって、日本人が自然をどのように捉え、表現してきたかを歴史的な名品の数々によって辿るという企画の趣旨を十分に実現することができたと考えています。そして各種の普及広報の取り組みの成果として、学校団体の鑑賞や外国人留学生のグループ鑑賞などがあり、また博覧会にあわせて来日したと思われる外国人の姿も多く、国内外の人々に日本美術の重要な作品を鑑賞する貴重な機会を得ていただき、日本文化への関心を一層深めてもらうことができました。

また、この展覧会を機会に、愛知県を中心にこの地域の小中学校、高校をはじめとし、各大学関係への広報普及に取り組んだことや、地域内の各種の文化サロン（各デパート友の会等）やホテル業界、タクシー業界への働きかけをしたことで、この展覧会への関心を高め、多くの来場者を確保できただけでなく、美術館活動と地域の学校や各種団体との連携を作りだしていく大きな契機とすることができました。例えば、小中学校や高校の教師を対象とした鑑賞学習交流会にも数多くの教員の方の参加があり、美術館と教育現場との連携のあり方について活発な意見交換をすることができました。

このように今回の展覧会の実施は、その目的を十分に果たすことができたと考えています。

(6) 新聞記事等

○新聞記事

同様の新聞記事

日本経済新聞 平成 17 年 2 月 26 日 朝刊 44 面

新美術新聞 平成 17 年 3 月 11 日

京都新聞 平成 17 年 3 月 19 日 朝刊 10 面

名古屋タイムズ 平成 17 年 3 月 25 日 朝刊

中日新聞 平成 17 年 3 月 28 日 朝刊

中日新聞 平成 17 年 3 月 28 日 夕刊

中日新聞 平成 17 年 3 月 29 日 朝刊

日本経済新聞 平成 17 年 3 月 30 日 朝刊

中日新聞 平成 17 年 3 月 30 日 夕刊

毎日新聞 平成 17 年 3 月 30 日 夕刊

中日新聞 平成 17 年 3 月 31 日 夕刊

中日新聞 平成 17 年 4 月 2 日 夕刊

中日新聞 平成 17 年 4 月 4 日 夕刊

中日新聞 平成 17 年 4 月 7 日 夕刊

中日新聞 平成 17 年 4 月 9 日 朝刊

中日新聞 平成 17 年 4 月 10 日 朝刊

中日新聞 平成 17 年 4 月 11 日 朝刊

中日新聞 平成 17 年 4 月 12 日 朝刊

中日新聞 平成 17 年 4 月 13 日 朝刊

○テレビ

NHK「新日曜美術館」

平成 17 年 3 月 27 日 9 時 45 分～9 時 50 分（5 分程度放映）

○関連誌

『美術の窓』2 月号「自然をめぐる千年の旅—山水から風景へ—」

生活の友社 平成 17 年 2 月 20 日刊行

『美術の窓』3 月号「自然をめぐる千年の旅—山水から風景へ—」

生活の友社 平成 17 年 3 月 20 日刊行

『和楽』2005 年 3 月号「選りすぐりの『日本美術に見る自然』」

『美術百家』2005 年「自然をめぐる千年の旅—山水から風景へ—」

『芸術新潮』2005 年 3 月号「山水の記憶」

『芸術新潮』2005 年 4 月号「美術館で『絶景かな！』」

『ぴあ(東海版)』2005 年 3 月 17 日号「日本美術千年分の自然観を体感」

ぴあ株式会社 平成 17 年 3 月 17 日刊行

『婦人公論』2005 年 3 月 22 日号「自然をめぐる千年の旅」

『週刊ポスト』2005 年 4 月 15 日号「大人の修学旅行」